

## 10 / 25 第3回呉市中小企業・小規模企業振興会議ワーキンググループ議事概要

## 1. シンポジウムの結果について（報告，資料1）

- ・令和6年10月5日（土）に開催したシンポジウムのアンケート結果  
シンポジウム参加者 33名

## 2 地方就職学生支援事業について（事務局提案，資料2）

- ・県外の大学生が就職する際，呉市へU I Jターン就職することを促進するため，就職活動に要した交通費の一部を支給する事業

## 3 令和6年度テレワーク・ワンストップ・サポート事業について（当日配布資料）

- ・くれ産業振興センター，安川様から事業内容について説明  
総務省の事業として，無料でオンラインセミナーを開催することができ，呉市として実施してみてもどうか？（別チラシのとおり，12月には同事業を活用し，呉信用金庫主催でM&Aに関するセミナーを開催予定）  
→ 各出席者から反対意見はなく，今後事務局と安川氏で話しを進めることとした。

## 4 「市内企業経営動向調査」結果について（報告，資料3）

- ・前回のワーキンググループにおいて，速報版で報告した「市内企業経営動向調査」についての結果報告アンケート結果調査概要の報告

## 5 グループワーク 「人材」に関する具体的な施策等について（討議，参考資料）

## (1) グループ討議の内容

- ア 「市内企業経営動向調査」の結果内容について感じたこと等
- イ 「市内企業経営動向調査」を踏まえ，「人材」に関する施策等

## (2) 発表内容

## 【Aグループ】

- ・地方就職学生支援事業を周知させる方法がとても重要である。
- ・(人材確保のための) 対策をしていないとあるが，対策しなくても満足しているのか，したいけどお金がないのか，いろいろな場合が考えられる。
- ・従業員の平均年齢が全体的にあがっていることをネガティブに捉えるのではなく，シニア層が持つ経験等の強みもあるので，問題意識を持つ必要はないのではないか。
- ・会社側は漠然と人を採用したいではなく，どういう人材が欲しいのか，どういう人材を採用し，成長してほしいのか等，ターゲット層の選定をする必要があるのではないか。

- ・採用に関する窓口としてハローワークを利用するだけでなく、お金をかけない募集方法として、インスタなどの SNS や DM で人を集めるといった方法もある。そういうやり方を呉の企業に伝える。
- ・賃金の引き上げだけが問題であるという考えではなく、他にも問題はあある。本当に必要な人材としてのターゲットの選定、採用戦略をきちんと立てる必要がある。
- ・アンケートでは運輸業が人材に苦勞している様子も伺えるが、運輸業界は 2024 年問題から人手不足が顕著である。特定技能に自動車運送業が追加されることとなり、特定技能の外国人労働者をドライバーとして活用することができるため、外国人材の受け入れを事業として行っている当社（(株)ダイキ）で外国人ドライバーを奨励していこうと考えていることをグループ内で情報提供した。

### 【Bグループ】

- ・アンケートがもう少し深く深く掘れたらよい（人材対策で何もしていないにしても、人材に困っていないのか、お金がないのか等）
- ・シニア層を活用できるようにしてはどうか。
- ・企業の風土自体を変えていかないと人材は定着しないのではないか。セミナー等を実施しても、ピラミッドで言う上の層だけが様々なセミナーに参加し、色々実践することでよい企業になっていくが、下の層を上げるために、例えば若い人を雇った企業には金融機関の金利を優遇する又は助成金を出す、呉独自の認定制度を作り、企業を認定することで他社と差別化する等、まずはどうすればインパクトのある制度となるかを話し合った。
- ・今の若い人は企業に対し、賃金よりも自分が成長することに期待を持っている。社員が「こういうことをしたい」と思ったことを企業がバックアップすることに対し助成することも考えられる。
- ・企業が生き残る・発展するためには、若い人の価値観に揉まれている企業でないと新しいアイデアも出ず、生き残れない。お金を使わず若い人を雇うために、高校生のアルバイトを使う。アルバイト禁止の高校が多いが、撤廃し、週1回とか週2回でも高校生が企業に参加することにより、新たな価値観が企業に入るのではないか。

### （WGリーダーから）

今後、本体会議において、ワーキンググループで議論してきた「プロボノ人材」や「地方就職学生支援事業」を始め、市内企業経営動向調査の結果等を報告する。

また、同会議において議論された内容がワーキンググループにフィードバックされ、引き続き議論していくこととなるので、引き続きよろしくお願ひしたい。

以上